



区内女子
ラグビーチーム

左から横川代表、長谷部直子監督、松永主将、山中市長、内海選手、角川選手、西山雄二チームディレクター



山中市長（右）と話すTKMメンバー

区内を本拠地とする女子ラグビーチーム「YOKOHAMA TKM」が8月23日、山中竹春横

「TKM」が市長表敬

7人制総合3位を報告

浜市長を表敬訪問し、7人制シリーズの終了と結果報告をした。

同チームは今年4月、7人制の国内最高峰大会「太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2022」の熊谷大会で初優勝。その後同シリーズの3大会をそれぞれ好成績で終え、12チーム中総合3位の結果を残した。表敬訪問では横川秀男

代表が「皆様のおかげ」と感謝を示しながら「これから上を目指したい」と語った。山中市長は「素晴らしい成績で、地元チームとして大変うれしく思う」とねぎらい、「横浜からラグビーを盛り上げ、19年W杯のレガシーを作っていければ」と語った。松永美穂主将は「大会で初めて結果を残せ、安心した」、今年度加入した内海春菜選手は「今後女子ラグビーの認知を高めていきたい」、角川穂乃花選手は「本当に楽しかった。次に控える15人制の大会で優勝できるようにがんばりたい」と語った。